

【工業:建築・デザイン科】

平成25年度 指導と評価の年間計画(シラバス)

盛岡工業高校 全日制課程

教科		工業技術基礎	単位数	2	学科・学年	建築・デザイン科1年									
使用教科書		工業技術基礎 実教出版		副教材	建築実習2 実教出版(株)										
到達目標(具体的な取り組み【評価基準を念頭に置いた指導上の留意点】)										評価の重点					
建築および建築デザインに関する基礎的技術を実験・実習によって体験させ、専門技術への興味・関心を高める。 ・整理、指示事項を開ける態度 ・実習への取り組み方、関心、意欲 ・整理、整頓、及び安全作業 ・レポート、作品の提出										関	話	書	読	知	
学期	月	実習名(班別)			主な学習活動・評価のポイント			評価方法			心	す	く	む	識
										意	聞	能	能	理	
										欲	く	力	力	解	
										態	力	力	力	解	
前 期 中 間	4	1班○建築計画実習 ・照度測定 ・有効温度測定 ・炭酸ガス測定 ・スウェーデン式サウンディング試験			1班○計画実習の意義と方法 ・熱, 光, 空気が住環境に及ぼす影響と評価の指標を理解させる。 ・地質に関する実験の意義と測定器具の正しい使い方および測定方法を習得させる。			・作業態度 ・作業の順序 ・作業の速度			○	○	○	○	○
	5	2班○測量 1. 距離測量 ・平坦地の距離測量 ・野長の記入について 2. 平板測量 ・平板測量の器具 ・平板の据付と視準 ・平板の骨組測量			・レポートの作成と測定結果の評価を学ぶ。 2班○距離測量と平板測量 ・距離測量 ・ヘロンの公式で、測定面積の計算 ・平板による骨組測量の進測法を理解する。 ・図式解法による誤差(閉合誤差)の調整			・図面の完成度 ・報告書の作成			○	○	○	○	○
	6							・作業の準備 ・作業の速度 ・作品の完成度			○	○	○	◎	◎
前 期 末	6	3班○建築デザインの基礎演習 ・純粋形態、人工形態デッサン			算式解法による誤差の調節 ・平板による骨組測量図面の完成						○	○	○	○	○
	7	○建築デザイン演習 1. 外観透視図(着彩パース) 2. 内観透視図(着彩パース)			3班○建築デザインの基礎 ・純粋形態のデッサンを通して、線、点、面の表現を理解する。 ○建築パースの手法						○	○	○	○	○
	8				1. サンプル資料を参考にしての模写 2. 溝引き定規をマスターする。						○	○	○	○	○
	9	*クラスを3班に分けローテーションで実施													
後 期 中 間	9														
	10														
	11														
学 年 末	11														
	12														
	1														
	2														
	3														